

## 学術研究推進助成実績報告書 (中間)完了)

平成 24 年 11 月 28 日

公財岡山工学振興会

代表理事 小西 忠孝 殿

(所属機関名) 川崎医科大学循環器内科学

(申請者名) 吉 田 清



※研究期間に応じ、報告書の中間・完了のいずれか該当のものを○で囲ってください。

研究題目	虚血性心疾患の病態解明と新しい治療法の開発	
研究期間	H23. 4. 1～H24. 3. 31	
共同研究者	氏 名	所属機関 (職名)
	大倉 宏之 川元 隆弘 根石 陽二 林田 晃寛	川崎医科大学循環器内科・准教授 川崎医科大学循環器内科・講師 川崎医科大学循環器内科・講師 川崎医科大学循環器内科・講師
研究題目について の研究発表	発表した学協会名と期日	発表した会誌等
	Kikuko Obase, Akihiro Hayashida, Ken Saito, Yoji Neishi, Takahiro Kawamoto, Nozomi Watanabe, Hiroyuki Okura, Kiyoshi Yoshida. Three Dimensional Evaluation of Mitral Valve Complex: Its Implication on Therapeutic Strategy for Functional Mitral Regurgitation. 第75回日本循環器学会総会・学術集会, 2011年8月	Kikuko Obase, Masashi Komeda, Hiroyuki Okura, Kiyoshi Yoshida. A new echocardiographic window to visualize the mitral valve complex during mitral valve repair for functional mitral regurgitation. J Thorac Cardiovasc Surg. 143(5):e42-4, 2012
研究概要	<p>心エコー図法は僧帽弁疾患診断に最も適した画像診断法であり、近年広く使われるようになった3次元経食道心エコー図法では、左房側からの観察により、実際に術中に外科医が見る僧帽弁の形状を明瞭に描出することが可能である。さらに、経胃アプローチのエコービームは腱索および乳頭筋の走行にほぼ直交し、プローブからの距離も短いため、これらの描出に適している。</p> <p>3次元のデータを取り込み、後に必要な2次元平面を切り出すという手法を用いれば詳細な乳頭筋先端の解剖や、腱索の弁尖への分布など詳細な観察、および定量が可能であり、僧帽弁複合体の形態や機能解析、僧帽弁形成術の評価などに極めて有用であると結論した。</p>	